



Title	日本語・日本文化研究 第33号 表紙
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化研究. 2023, 33
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/95371">https://hdl.handle.net/11094/95371</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

# 日本語・日本文化研究

## 第 33 号

### 目 次

『源氏物語』における連体修飾表現の解釈について……………	鴻野 知暁 ……………	1
V テオク再考 ……………	金谷由美子 ……………	16
「私」であることの2つの基準について：認知文法の観点から……………	田中 太一 ……………	44
在日日系ブラジル人のキャリア観の一事例 —ブラジル学校卒業生2名を対象として— ……………	吉川 夏渚子・池部 尊則 ……………	55
日本語の「のだった」とスペイン語の <i>fue que/era que</i> の対照研究 ……………	マジョール ロドリゲス ホルヘ ダニエル ……………	69
日本語における「無」の意味についての再考 —「無」ではじまる二字漢語とその反義関係に基づいて— チャン クォック ヒエップ ……………		84
韓国語を母語とする日本語学習者における二字漢字語の認知処理 —日本語の語彙知識及びL1による影響に着目して— ……………	李 煥然 ……………	99
慣用表現から見た「気」と「心」の意味領域の共通点と相違点について ……………	オトゴンジャルガル ドルギオン ……………	114
事象キャンセルについて —日本語とカンボジア語の対照研究— ……………	ソック ソワンロッター ……………	129
日本語母語話者とドイツ語母語話者の日本語接触場面における「依頼の断り」の連鎖組織 —「断り」発話の位置に注目して—……………	市来 海唯 ……………	143
学部卒業論文の先行研究の章における推敲過程 —推敲内容と意識の調査を通して—……………	田中 伶弥 ……………	158

2023年12月